

第3期事業報告書
(令和2年5月1日から令和3年4月30日まで)

特定非営利活動法人結ネットたんぽぽ

1 事業の成果

本法人の目的及び事業に対する社会の要望に応えるため、本年度においては高齢者等の常設居場所「おしゃべり日和」運営と「集落居場所」運営・支援に取り組み、そこでのふれあい活動を中心にならうとした困りごとを支え合いながらの活動を行った。コロナ禍ということもあり、予定していた交流行事を中止せざるを得ない状況時もあったが、感染予防に努めながらできる事はしっかりと取り組んだ。

当期は五ヶ瀬町の「高齢者福祉計画・介護予防推進計画」、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定があり、当法人からもワーキング会議に2名、策定委員会に1名が出席し、町の現状や課題、対策等について行政や社協、関係団体（者）と共に協議、意見交換することができた。

また、当期も五ヶ瀬町から生活支援コーディネーターと介護予防推進員の業務を受託し、それぞれの立場で各業務の遂行に努めた。

2 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

① 居場所事業（常設）

ア 平日の週5回開所。多くの高齢者等が足を運び、折り紙や手芸、パズル、ビー玉ゲーム、トランプ、読書、歌、体操など思い思いに過ごされた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月と8月に閉所期間を設け、開所時も密を避けるために利用日の制限や、宮崎県地域を支えるNPO支援事業等を活用し、自動手指消毒器、アクリル板、ペーパーホルダ一等設置による感染予防対策を行った。また、コロナ禍のため、ふれあい交流行事等は殆ど実施することができなかつたが、商工会、行政との連携による交流等は数回持つことができた。特産センター五ヶ瀬の移動販売と町立図書館がコラボして取り組んでいる「五ヶ瀬マルシェ」は来所していただき、多くの方に買い物と読書の機会を提供することができた。コロナ禍で、感染予防の話をする機会が増え、アクリル板設置や間隔を空けて座らなければならぬなど、これまでにない環境となり、大きな声でのおしゃべりや笑い声が少なくなり、物足りなさ、窮屈さを口にされる方もおられたが、それでも足を運ばれる高齢者は多く、居場所を必要とされている方が多いことを改めて感じた。

※閉所期間中は電話やハガキ、個別訪問による安否確認、筋力低下や認知機能低下防止の声掛け等を行った。

◎開所日：週5回（土、日、年末年始、祝日を除く）

189回 延べ利用者1822名

※5月1日～5月15日、8月5日～8月31日は感染症拡大防止のため閉所

- * 6月 9日：五ヶ瀬町議会の傍聴（高齢者8名）
- * 7月 1日：医大生1名受け入れ
- * 7月 3日：運動教室へ参加（高齢者6名）
- * 9月30日：保健福祉大生2名受け入れ
- * 11月24日：運動教室へ参加（高齢者5名）
- * 12月17日：商工青年部サンタクロースと交流
- * 4月21日：ラジオ体操五ヶ瀬版収録協力（高齢者名）
- * ごかせ壮（特老）のショートステイ利用者1名の受け入れ支援
- * 健康ポイントカード交換支援
- * マイナンバーカード申請支援

イ 集落居場所運営、支援

- * 牧の居場所…月1回（9時～15時）
- * 内の口の居場所…月1回（9時～15時）
- * 長迫の居場所…月1回（9時～15時）
- * 寺村の居場所…月1回（9時～15時）
- * 4区居場所「お茶飲もや」…月1回（13時30分～15時）
- * 12区居場所「なかよし」…月1回（9時30分～14時）
- * 本屋敷の居場所「よこいび」…月1回（9時～11時30分）
- ※集落行事や新型コロナウイルス感染予防対策で中止の月もあった。

ウ 新たな集落居場所の開設支援は要望無し

② 見守り事業

ア ひとり暮らしや高齢者世帯を始め、住民や行政から気になる情報が入った際や新型コロナウイルス感染拡大対策の自粛期間中に個別訪問や電話、ハガキ等による見守り活動を行なながら異常の早期発見、早期対応に繋げた。

③ 助け合い事業

ア たすけ愛たんぽぽ

誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるために、暮らしの中のちょっとした困りごとをお互いさまの気持ちでの会員同士で解消する助け合い活動の試行に取り組んだ。

- * 利用者3名（96歳男性）：1回（買い物、床屋支援）
- （68歳女性）：1回（病院受診支援）
- （83歳女性）：1回（居室掃除）

イ 支え合い活動支援

- * コロナ禍での当法人運営の居場所の方針等についてサロン指導員連絡会へ情報提供了。

- * 地域福祉委員会（みごかせ会）主催の「加勢の日」（高齢者宅訪問）が中止になり、オリジナルカレンダー制作と配付に変更となったため、カレンダー作りと高齢者宅への個別配付に参加した。
(6/30、12/3、2/4、3/10、
- * 廃校校舎を拠点として住民主体で支え合い推進を進めている鞍岡地区での協議の場に参加し、参加者と共に活動しながら支え合い推進の啓発を行った。
- * 新型コロナワクチン接種に伴う高齢者への支援に関する意見交換を行った。
- * 鞍岡地区行政区（組長会）への活動紹介（6ヶ所）

④ 情報発信事業

- ア 「おしゃべり日和」や「集落居場所」の様子をフェイスブックで発信した。防災、減災に関する意識を高める取り組みや、町内の集落居場所、サロン等の情報を生活支援コーディネーター便りに掲載して全世帯に4回配付した。また、町の地域ケア会議にも当法人から2名出席して専門職や事業所等への情報提供も行った。

⑤ 異世代交流事業

ア あいであ広場開催

町の将来、町の課題を中高生の視点も交えて一緒に考え行動する場として、あいであ広場を7回開催した。当期は住民の命に関わってくる防災・減災について話し合う機会を多く持った。その一環で、3月には東北芸術工科大学の手嶋穂さん（当時4年生）が組んでいる「コミュニティ+防災」、「地域に合った防災訓練」について、話を聞きながら意見交換をする場も設けることができた。※リモートにて

イ 読書交流会（仮称）の開催

感染拡大防止のため実施できなかった

⑥ 認知症、介護予防事業

ア 訪問活動

今期も町から受託を受けた介護予防推進員が主となって、おしゃべり日和や集落居場所はもちろん、集落、世帯への訪問も行いながら積極的に予防活動に取り組んだ。介護予防推進員が訪問できない集落居場所については、個々の担当者が予防に繋がる体操やゲーム、情報提供等を取り入れて活動した。

イ 五ヶ瀬版ラジオ体操の制作と推進

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大対策の自粛に伴い、高齢者の筋力、認知機能低下を目の当たりにし、楽しく体を動かす活動推進が重要と考え、五ヶ瀬弁を取り入れた『五ヶ瀬版ラジオ体操』を、九州ろうきん「NPO助成」を活用し、五ヶ瀬町役場、五ヶ瀬中等教育学校、常設居場所の協力をいただき制作した。

今後、介護予防対策の一つのツールとして様々な場面で活用しながら推進する。

⑦ 広域連携事業

ア みんなのくらし支え合い協議会活動

当法人は支え合い活動の経験が浅い。住民が主体となった「助け合い・支え合い」の仕組みを創出するため、協議会主催の勉強会や情報交換の場に参加し、経験が豊富な構成団体等から貴重な学びを得ることができた。

特に、当期は「コロナ禍での避難、居場所運営、支え合い活動」についての情報交換、勉強会ができた。

* 12月18日：勉強会及び情報交換会参加（都農町）

* 日常的にSNSを活用して情報交換、意見交換

⑧ 研修等事業

ア 学びの場への参加

事業推進のため、さわやか福祉財団やみんなのくらしターミナル主催の勉強会を始め、町内外の様々な組織が主催する会議、シンポジウム、講座、意見交換の場等に積極的に参加し、日々の活動に活かした。

また、当期は町の「高齢者福祉計画・介護予防推進計画」、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定があり、ワーキング会議に2名、策定委員会に1名の計3名が委員として計画策定に関わった。

- ・町ボランティア連絡協議会（6/30、11/30、3/17）
- ・町福祉課との意見交換会（7/1、11/27）
- ・「災害避難対応・対策」と「生活支援・孤立防止」勉強会（7/12）
- ・県立五ヶ瀬中等教育学校行事参加（7/16、10/22、11/13、3/12web）
- ・町介護予防ボランティア養成講座（7/3.9/4.10/4.11/6.11/24.9/25.10/30.12/11.12/16.3/5）
- ・町福祉計画ワーキング会議（9/24、10/7、10/16、11/18、3/2）
- ・町福祉計画策定委員会（2/18.3/18）
- ・町介護保険計画策定委員会（11/9.12.21.2/1）
- ・県生活支援コーディネーター連絡会（10/27）
- ・生活支援コーディネーター研究協議会（11/11web）
- ・成年後見制度サポート養成講座（11/13）
- ・広がれ助け合いの輪みやざき交流集会2020（12/13web）
- ・「ウイズコロナすべての人に居場所を」オンラインシンポジウム（1/24web）
- ・みやざき交流集会2020 ブランチミーティング（1/30web）
- ・ブロック全国戦力会議（3/23web）
- ・町人口分析、介護保険分析報告会（3/24、3/25）
- ・介護予防、日常生活支援総合事業に於けるボランティアの参画に関する調査研究事業報告会（3/25web）

イ 学びの場の開催

・移動販売に関する情報共有、意見交換の場創出（6/9、10/16）

・視察研修：椎葉村（4/3）

・情報収集、情報発信推進のためにSNS等操作に関する勉強会

また、当期は住民の命に関わってくる防災・減災の意識向上のための取り組みとして、鞍岡地区において集落支援員と連携し、避難所開設時の連絡体制強化について、民生委員、公民館長、住民に呼びかけ、みんなで検討していく場を設け、各区の連絡体制表を作成した。（5/22、8/31、9/18、9/28、10/9、12/10、2/10、4/2、4/12、4/23）

連絡体制表については、次期に鞍岡全戸に配付し、体制の強化推進を行いながら防災・減災の意識向上に繋げる。

⑨ その他理事会で実施を決定した事業

* 『来年（絵）日記』プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、不安等で心が沈む年だったことから、来年は夢や希望が叶う素敵な年になる、と希望を持つことができるきっかけづくりとして、2021年の“とある日”的楽しい（嬉しい）出来事の（絵）日記を募集し、ふれあい施設に掲示した。

（2） その他の事業

実施なし